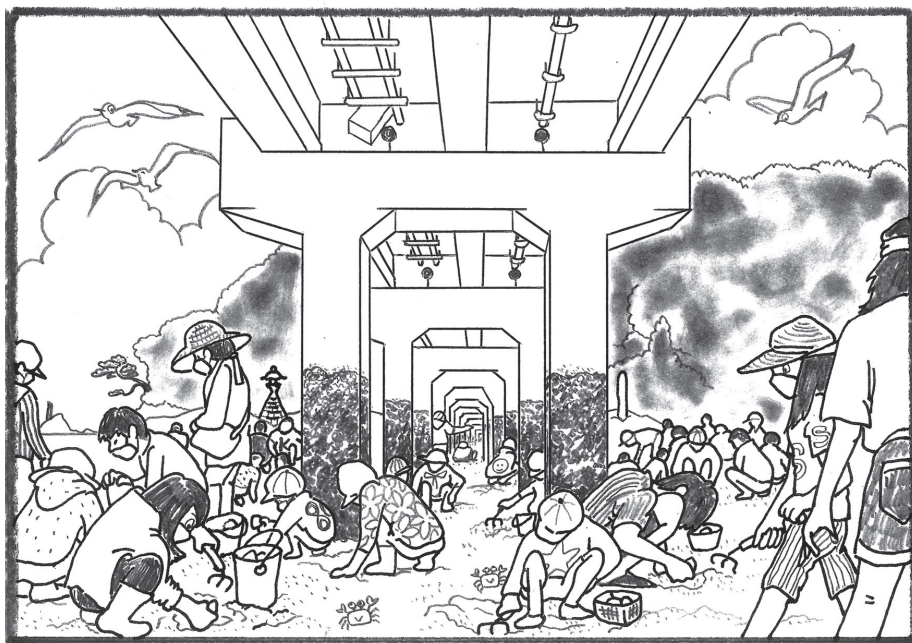




絵を見て、まちがいを
10カ所見つけてね。
正解者のうち、
抽選で5人に
図書カードを
プレゼントします。



応募方法

はがきまたはファクスに①答え(どちらかの絵に○をつける)②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号⑥広報紙の感想、ご意見などを書いて秘書広報課(〒443-8601 FAX 66-1192)へ。当選者と答えは、広報がまごおり7月号に掲載します。

締 切 5月14日金

3月号当選者

岩瀬 輝信(形原町)
岡野 千乃(宮成町)
神田 詩都(形原町)
近藤 浩行(三谷北通)
鈴木 啓吾(相楽町)
鈴木 正敏(西浦町)
新原あいか(鹿島町)
早川 樟太(竹谷町)
伴 久彦(清田町)
森川 雅史(本町)

(50音順・敬称略)



画:とうふねこ座
市川雅子

こんなところでも潮干狩り

帽子にラッシュガード、くま手にバケツ、春気がいたら用意ばっちり。海に呼ばれる気がしてうずうずしている人はいませんか?蒲郡ではおなじみ、潮干狩りの季節です。

毎年観光客で特ににぎわうのが、竹島海岸潮干狩り場。開始時間になると我先と場所取りが始まります。潮が引いて砂浜となった海の上を歩いて渡れるのも潮干狩りのときくらいですね。さあ、どこでアサリを探そうかな?誰も踏んでない未開の地を開拓しようか、帰りやすい近場にしようか。いつもと違った竹島を味わいたいなら、竹島橋の下はいかがでしょう?いつもは風を感じながら心地よく歩く長い橋。下から見ることは、なかなかありません。橋の下は太陽の光を遮って少しひんやり。ちょっぴり探検気分も味わえるかも😊

3月号の答え

ゾッキ特別版

